

チーム豊成の力を高め、「潤いと勢い」のある学校づくり

Connect



帯広市立豊成小学校 キャリアプロジェクト通信

令和7年5月19日
NO.1 文責 菊谷

キャリア

中村農園での学習がスタート！中村さんのお話から。 「みんな、いのちをいただいているんだよ！」



キャリアプランニング能力の育成を目指します。ステキな大人の姿から、自分の未来について考えます。

5月16日（木）5年生のキャリア教育がスタートしました。

豊成小のキャリア教育は3年生の「機関庫の川のステキ」から始まり、自分たちの豊成地域の自然や環境の素晴らしさを学びます。4年生では、地域の多くの施設、そこで働くステキな大人に出会いました。

5年生の総合的な学習の時間「十勝の農業を体験し、魅力を知り、発信する。」を支えてくださる、地域のステキな大人1人目は、**中村農園代表の中村正信さん**（豊成小学校第1回の卒業生で、50周年記念協賛会の会長を務めてくださいました。）は、毎年たまねぎの栽培や管理・収穫まで1年を通して指導して下さる豊成にはなくてはならない“地域の先生”です。

中村さんの指導の下、1人に割り当てられた1m×2mの畑に均等に60本の苗を1本1本丁寧に植えていきます。「たまねぎは、種をまいて、苗が育って、土の中にたまねぎが実ります。そのたまねぎが冬を越し、また芽を出して花を咲かせ、種を付けます。つまり2年間かけて次の種を作っています。」「みんなが食べているたまねぎは、種を作る前の途中のいのちをいただいていることになるんだよ。」

と教えてくれました。貴重なお話でした。「畑の仕事は、苗を植えるときと、収穫のときは、楽しいしおもしろいけれど、その間が大変。でもそこをやらないと、おいしい玉ねぎができないから、1年間頑張っていこうね！」と子どもたちに言葉を掛けてくださいました。**中村さんの夢は、そんな農業にかける思いを地域の子どもたちに発信し続けること。**おいしいたまねぎを作るために今も勉強し続けている中村さんのすごさを知ることができました。5年生は、中村さんとのステキな出会いを通して、その姿から、これからの自分の未来について考えるキャリアプランニング能力を育てていきます。

